

長岡市の高齢者保健福祉を推進するための方向性

(1) 地域包括ケアの推進に向けた医療・介護連携の推進

- ・医療・介護連携の基盤となる、多職種の「顔の見える関係」の深化
- ・ICTを活用した医療・介護情報連携システム「フェニックスネット」のさらなる拡充

(2) 介護サービス提供体制の維持・確保

- ・国、県と連携した介護人材確保の支援による、既存の介護サービス提供体制の維持
- ・利用者ニーズ及び介護人材確保の見通しを踏まえた介護サービス基盤の確保

(3) 認知症の人や家族を支える認知症施策の推進

- ・認知症の人の増加を見据えた認知症予防、早期対応、相談体制の充実
- ・認知症の理解の促進と、認知症の人を地域で見守る体制の強化

(4) 健康づくりと介護予防の推進による健康寿命の延伸

- ・働き盛りの人など若い世代へのアプローチの強化と、多世代が楽しみながら健康づくりに取り組む機会の提供
- ・介護予防事業の継続実施と、新たな総合事業の着実な推進

(5) 地域住民が主体となった支え合い体制づくり

- ・元気な高齢者が「担い手」として活躍するための環境、仕組みの拡充
- ・地域住民が主体となって地域課題を検討し、関係者が協力して支え合いを行う体制づくりの進展